

れんごう中越地協

第93回連合中越地協委員会

春季生活闘争方針と当面の活動

連合中越地協第93回地協委員会が、2月10日(木)午後6時からアトリウム長岡で開催された。

最初に「未来をつくる、みんなで作る」をスローガンとする方針について、意義と基本スタンスを説明。雇用形態間格差是正の取り組みや、すべての労働者の立場にたった働き方の改善、60歳以降



第1101号2022.2.21
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



矢島議長は、挨拶で

22年度連合中越地協新春にあたり SUNETネット委員長等が抱負

れんごう中越地協第1100号(2月11日発行)に続いて、SUNETネット委員会三役に抱負を伺った。

★渡辺委員長

全労金2022春季生活闘争は、①労働組合の組織強化を図り、社会的波及を意識した運動に取り組む、②労働者態で働くすべての労働者の安定雇用と生活改善、及び、労働条件の統一をめざし、「底上げ・底支え」公

★阿部副委員長

新年あけましておめでとうございます。第16回SUNETネット委員会総会をもちまして副委員長に就任いたしました。電力総連の阿部逸汰と申します。

★富井事務局長

21年度は新型コロナウイルスの影響により、従来行われていた交流会やスポーツ大会など集合型の活動は行なう事が出来ませんでしたが、その中でもSUNETネット委員会でZOOMを使ってオンライン学習会を行いました。

21年のベースアップ状況、ガソリンをはじめとする生活必需品の値上げ等の先行き不安要素と将来不安から貯蓄にまわす国民意識、連合の賃上げは責任重大等と述べた。

皆さん在宅勤務はされていますでしょうか。会社から在宅勤務システムを提供されている方もいれば、中にはそういったシステムはないけれども上手に在宅勤務をされている方も多いためではないでしょうか。在宅勤務はコロナ禍において急速に浸透しましたが、まだまだ課題が多いように思います。従業員から見ると、「通勤時間が無くなる、リラククスしながら仕事が出来るといったワークライフバランスの向上などのメリットが多い反面、「孤独を感じる・相談がしにくい」といったコミュニケーション不足」などが課題となります。

幹事(教宣文化) 安田亮介
上などのメリットがあり、在宅勤務システムの運用コストや社員の時間管理、評価方法など課題が目立つようです。また、諸説あるようですが「従業員の生産性が落ちる」といった懸念もありません。▼では、仮に従業員の生産性が落ちると仮定した場合、会社は在宅勤務制度を廃止するべきでしょうか。答えはNOです。今働いている従業員はもろもろのこと、これから社会に出る若者の多くは在宅勤務制度に魅力を感じています。▼会社からすると頭の痛い問題かもしれませんが、アフターコロナにおいて各企業がどのような制度とするかが人材確保のカギとなるかもしれません。



事業がスタートできるよう取り組む、の4点を基本スタンスとし、全労金組織が一体となって、仲間との繋がりを大切に力強く闘争を展開し、組織風土改革を進めていきます。

頭置き今後の活動に尽力していきたいと思っております。最後にありますが、私自身社外組織に所属するのは初めてです。各構成組織との繋がりを築きみたいと思っておりますので何卒よろしくお願いたします。

また、社会貢献活動としては、前年より開始した農園活動でさつまいも、にんじんを栽培・収穫し、フードバンクなどがおやかや、関連する子ども食堂に寄付し喜んで頂けました。更に22年度は福祉市民体験農園Oasis Rを管理する特定非営利活動法人UNEより、共同作業の話もあり活動領域が広がる予定となっております。

サラリーマン川柳(冷える夜に 追いうちかける オヤジギャグ)(天神も 呆れる絵馬の 誤字当て字)(節約の 便座冷たく 尻が浮く)(枕より 妻に欲しいぞ! 低反発)

サラリーマン川柳(へそくりも脂肪もため込む貯蓄型)(「いつ買った?」前からあったとシラを切る)(最近じゃ写真を撮れば葬儀用)(ドーピング無しでもワイフストロング)

連合北魚沼支部だより

1月25日に第1回幹事会を小出郷福祉センターで開催し、2022春闘での取組をはじめとして、当面の活動について協議しました。



各単組での春闘取組状況を簡単に報告し合い、北魚沼支部決起集会をどのように開催するか討議しました。新型コロナウイルス感染症の状況が読めないところもありますが、3月10日(木)に開催するため準備を進めることとしました。また春闘激励訪問については、来訪に何らかの制限がある会社もあり、決起集会の中で工夫して実施することとなりました。

「中央交渉方式で決めているため、直接交渉に関わらない」という構成組織もありますが、地域で春闘を盛り上げていくため、今後も小さな交流と連帯・支援を積み重ねていきます。



ながおか ワーク&ライフセミナー 講演A



× ながおか

新潟県にNPB(日本野球機構)プロ野球球団の誕生とドームシティ誕生の実現を目指す「日本海ドームシティプロジェクト」が2021年の6月に立ち上がりました。このプロジェクトがもたらす長岡への影響や、若者・子どもたちへのメリット等についてプロジェクトメンバーの代表たちが、長岡を中心に活躍する方々をお迎えしてパネルトークを繰り広げます。長岡初開催!
*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。また、状況によっては、中止する場合があります。
*中止等の連絡のため、申込時に連絡先をお伝えください。

2022 3/3(木) 18:30~20:00

会場 長岡中央図書館 2階 講堂

定員80名
参加費 無料

参加者には
日本海ドームシティプロジェクトロゴ入り
クッキーをプレゼント!

日本海ドームシティプロジェクトについてもっと知りたい方は
下記のQRコードまで



(日本海ドームシティプロジェクトメンバー)

代表理事 副代表理事 副代表理事



フラー株式会社
代表取締役 会長
渋谷 修太



有朋会社
ナマラエンターテイメント
代表取締役
江口 歩



長岡アナウンス・司会協会
代表
長谷川 直子



ひなた



株式会社マルシヤン
代表取締役
鷺尾 達雄



あがあがあるず
リーダー
キャンディ



クレンズ 代表
木村 春美

主催:長岡地区労働者福祉協議会
共催:日本海ドームシティプロジェクト
cre705@icloud.com

お申込み
お問い合わせ

TEL 0258-86-0111 (平日:9時~17時)
FAX 0258-86-0884
MAIL rengo.g@topaz.ocn.ne.jp

参加案内をはがき又は
メールでお送りしますので、
当日会場でご提示ください。

*** ながおかワーク&ライフセミナー *** 講演B

~つながり続ける力としての子ども食堂~ 映画「こども食堂にて」上映会

深刻化する子どもの貧困を救おうと立ち上がった子ども食堂。最近では子どもの貧困対策だけでなく、孤食の防止や地域コミュニティの活性化を目的に広がっています。この子どもについて、映画「こども食堂にて」の上映と子ども食堂運営団体、長岡市の報告を通じて、つながり続ける力としての子ども食堂について、学び合う場をながおワーク&ライフセミナーの講演として開催します。

- [日時] 2022年3月5日(土) 10:00~12:30
- [会場] 長岡市中央図書館 2階 講堂
長岡市学校町1-2-2
- [定員] 80人(先着順・感染予防のため会場定員の半数以下にしています。)

参加料
無料

映画上映 「こども食堂にて」(115分)

映画紹介:「こども食堂」は、地域の子どもたちを見守る場。そこには、何らかの事情を持つ子どもが来ることもある。こども食堂を舞台に、児童虐待、里親など、その環境の中で育つ子どもたち...懸命に生きる母親たち...子どもたちを支えようとする大人たちを描く。

報告 長岡市内の取り組み報告 長岡子ども&地域食堂ネットワーク
長岡市の施策について 長岡市 子ども子育て課
* 当日の午後は講演「親と子が逆境を生き抜くための力とは...」講師渡辺久子氏(渡邊醫院副院長児童精神科医)を開催します。(申込は別途必要です。)

新型コロナウイルス感染症拡大防止についてのご協力をお願い

- ①会場内ではマスクを着用してください。②会場内の消毒液による手指の消毒にご協力ください。
- ③下記に該当する場合は参加をお控えください。
・発熱や咳、のどの痛みなどがある場合。* 当日、自宅及び会場入り口での検温をお願いします。
・新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の経過観察に該当されている方。
・県外在住の方。
- ④参加者同士の密接を避けるため、参加人数に応じて座席を指定させていただく場合があります。
* 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止する場合があります。
* 中止等の連絡のため、申込時に連絡先をお伝えください。

長岡ワーク&ライフセミナー主催団体: 長岡地区労働者福祉協議会
共催 (公財)新潟ろうきん福祉財団(一社)新潟県労働者福祉協議会
後援 長岡市・長岡市教育委員会(申請中)

この事業は公益財団法人新潟ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源として開催します。

お申込み
お問い合わせ
(事務局:連合中越地域協議会)

TEL 0258-86-0111 (平日:9時~17時)
FAX 0258-86-0884
MAIL rengo.c@topaz.ocn.ne.jp

参加案内をはがき又は
メールでお送りしますので、
当日会場でご提示ください。

ながおかワーク&ライフセミナー



親と子どもが、 逆境を生き抜く ための力とは...

DVや虐待などの逆境下から逃れても、そこから自立と自律を果たしていくためには、大きなエネルギーが必要です。疲弊きつた親への支援が無ければ、子どもを助けることができない現実があります。親と子が社会の中で、安心して安全に生きていくための力をどう育んだらよいか、また、社会のありかたについて考える講座です。

3月5日(土) 14:00~15:30
長岡市立中央図書館 2階 講堂

講師:渡辺久子さん

LIFE DEVELOPMENT CENTER 渡邊醫院 児童精神科医・副院長
日本乳幼児精神保健学会 FOR WINDS 会長

- 参加費 無料
- 定員 先着80名(要申込・裏面をご覧ください)
- 対象 関心のある方ならどなたでも

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、講座が中止・延期もしくは講師と会場をつなぐオンライン開催になる場合があります。
※会場の換気や消毒、スタッフの検温等、感染予防対策をとって実施いたします。

主催:長岡地区労働者福祉協議会
実施:NPO 法人女のスペース・ながおか